

ジャンル	子ども・教育	日本語学習	医療・福祉	労働	災害対策	意識啓発 地域づくり	推進体制の 整備	その他
事業名	多文化共生の地域づくり事業 ～(1)多文化共生マップづくり (2)子ども日本語学習サポーター派遣事業～							
団体名	財団法人岡山県国際交流協会							

\*\*\*\*\* 事業のポイント \*\*\*\*\*

県内には留学生等の一部を除き、日本語・英語とも十分に話すことができない外国人が多数生活している。言葉の壁に阻まれ、子どもの教育に関する情報等をはじめ、日常生活に必要な情報を得ることが難しく、様々な問題・課題を抱えている人も少なくない。彼らの問題・課題を少しでも軽減し、多文化共生の地域づくりを推進するために、ネット上のマップを利用した多言語での情報提供や外国人児童・生徒の日本語学習を学校現場で支援する「子ども日本語学習サポーター(ボランティア)」の派遣等を行う。

助成年度 区分	(1)多文化共生マップづくり 平成 22 年度 地域国際化協会先導的施策支援事業 (2)子ども日本語学習サポーター派遣事業 平成 20・21・22 年度 地域国際化協会先導的支援事業	事業総額	(1) 561 千円(1 年分) (2) 2,859 千円 (3 年分) 計 3,420 千円
------------	--	------	--

事業の内容、成果等

●事業実施の背景

県内の外国人登録者数が県人口の約 1.2%を占めるが、来岡のニューカマーは、留学生等を除き、日本語・英語共に十分に話せない方も多い。そのため、子どもの教育に関する情報等をはじめ、日常生活に必要な情報の入手が困難で、それが様々なトラブル発生の原因ともなっている。行政の予算・人的資源に限りがある現状では、彼らの日常の課題に迅速に対応するためには、行政をはじめ、協会、NGO/NPO、ボランティアのサポートが不可欠であり、また、多文化共生の社会実現のためには、異文化への日本人の理解を深めるための意識啓発が必要である。

当協会の多言語での情報提供については、これまで、生活情報ガイドブックを英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語で作成し、在岡外国人に提供してきたが、掲載情報は短期間で変わり、紙ベースでは時間、人材、経費の制約もあり、情報を迅速に修正していくことは困難であるため、情報の迅速な修正が可能であるインターネットを使つての多言語情報の提供を検討していた。

また、在住外国人の増加・定住化に伴い、外国人児童・生徒数も増加した。子どもたちにとって、母語でない言葉で学校教育を受けることは、簡単なことではなく、就学しても日本語の習得が充分でないため授業についていけない、さらには不登校になる等の問題が発生しているが、県内市町村における在住外国人児童・生徒への日本語学習支援体制は必ずしも確立しているとは言えない。そこで、当協会では、平成 20 年度より学校現場で外国人児童・生徒の日本語習得を支援するボランティア、「子ども日本語学習サポーター」を養成する講座を実施し、講座修了者をボランティア(以下「サポーター」と表記する。)として登録した。平成 20 年度後半より県内の小・中学校からの依頼を受け、サポーターを試験的に派遣した。平成 21 年からはサポーターを本格的に派遣するとともに、新規サポーター確保のための養成講座、研修会等を行っている。

●事業目的

県内在住の外国人が安心して生活していくために、行政をはじめ、NGO/NPO、ボランティアの方々との連携を深めながら、多角的な視点から、多文化共生の地域づくりを推進する。

## ●事業内容

### (1)多文化共生のマップづくり

県内の日本語学校、市町村、外国語で対応可能な救急告示病院、県内の各種相談窓口など、在住外国人が岡山で生活する上で必要な施設・団体等の情報を日本語、英語、中国語、ポルトガル語で作成し、ネットで提供されているマップ上に掲載し、当協会ホームページに情報をアップロードする。

マップの作成に当たり、以下のような流れで作業を進めた。

#### 1 マップに掲載する施設・団体の選定

施設・団体の選定及び、掲載する情報の内容、情報項目の分類について協議。196 か所をリストアップした。協議に当たり、当協会の事業をサポートする登録ボランティア(OPIEF スペシャルサポーター)に協力を依頼。有志3名(いずれも日本語ボランティア等の経験有)にマップ作成メンバーとして参加を依頼、彼らと協働で選定作業を進めていった。

##### アンケート送付先リスト(一部重複あり)

掲載依頼団体	内 訳	施設・団体数
日本語関係	日本語学校、県内日本語教室	36
地方自治体	岡山県、県内市町村	32
国際交流協会等	市町村に所属する国際交流協会等	16
在留資格	入国管理局出張所、地方法務局	2
医療関係	外国語対応可能な主な救急告示病院、その他の主な救急告示病院、休日夜間急患診療所等	62
労働関係	労働局、労働基準監督署、県内ハローワーク	21
無料相談窓口	一般生活・法律・在留・行政・教育・DV 等相談窓口等	36
観光案内	外国人向け観光案内所	4
車の運転	運転免許センター	1

#### 2 アンケート調査

1で選定した施設・団体等へ、掲載の可否、掲載可能な場合の掲載内容(施設・団体名、所在地、連絡先、業務・活動内容、閲覧者へのメッセージ等)についてアンケート調査を行い、回答期限までに91か所から掲載の許可、12か所から掲載不可の回答を得た。93か所は無回答だった。追加の掲載依頼の後、最終的に98施設・団体の情報を得た。

#### 3 翻訳・入力作業

2で得られた掲載情報を英語、中国語、ポルトガル語にそれぞれ翻訳する作業を当協会の通訳・翻訳ボランティア登録者に依頼。翻訳作業終了後、日本語を含む4言語でマップ上に手作業でデータ入力した。最終的には4言語17項目、68枚のマップを作成した。

#### 4 作成した全データを当協会のホームページに掲載するため、最終作業を業者に依頼した。

## 多文化共生マップ 日本語版



アドレス <http://www.opief.or.jp/tabunkamap/jp/index.html>

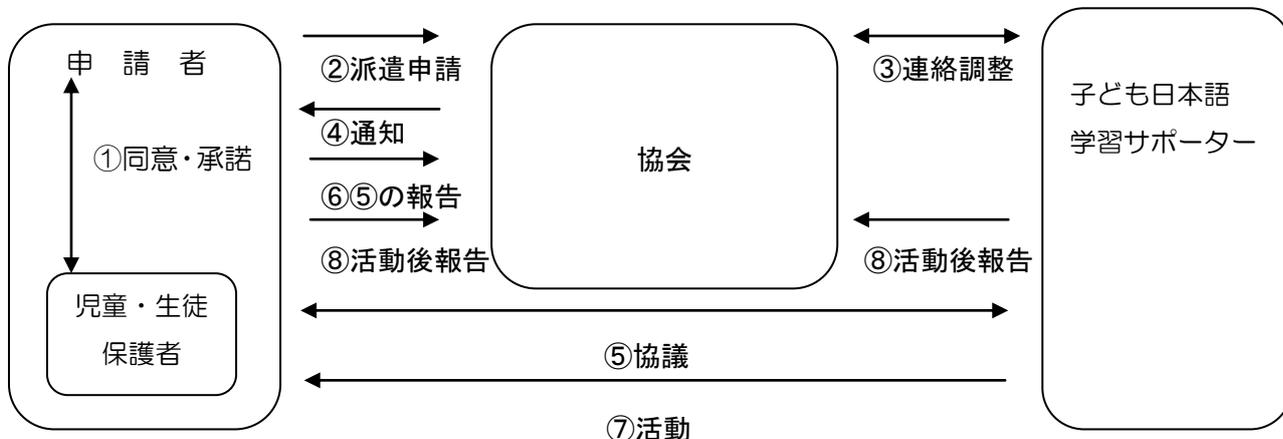
### (2) 子ども日本語学習サポーター派遣事業

1 県内の小・中学校からの派遣依頼を受けて、平成 21 年度からサポーターを県内の小学校中学校に派遣した。

- ・実施期間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月 11 日(助成金での派遣は平成 23 年 1 月末まで)  
派遣の申請は平成 23 年 1 月末まで
- ・対象者 岡山県内の小・中学校在籍の日本語能力が充分でない外国人児童・生徒
- ・申請者 岡山県内の小・中学校及び市町村教育委員会等
- ・サポート内容
  - ①小・中学校における授業中又は放課後の日本語指導、教科学習指導
  - ②地域の公民館等での日本語指導
  - ③その他、協会が依頼する児童・生徒の日本語指導に関すること  
(具体的な活動内容は、協会、申請者、サポーター、児童・生徒及びその保護者等で協議・決定)
- ・派遣回数 原則として一申請当たり 10 回。必要性が高い場合は、別途申請者より申請を受け、10 回を上限に延長可能。
- ・経費負担 1 回 3 時間までの活動につき 2,000 円(税抜)の活動協力金、協会の規定による交通費を協会からサポーターへ支給する。支給は活動終了後、申請者・サポーター双方からの報告書を受けた後、行う。

- ・ 派遣の流れ、サポーター派遣数、派遣回数等(過去3年間)は以下の通り。

### 派遣の流れ



### サポーター派遣数、派遣回数等(過去3年間:平成20年度は試行)

年度	派遣数 (実数)	生徒数 (実数)	出身国内訳	派遣回数
20	11名	14名 (小学校11名、中学校3名)	中国6、ブラジル4、フィリピン2、 その他2	118回
21	13名	16名 (小学校10名、中学校6名)	中国6、フィリピン5、ブラジル3、 パキスタン2	200回
22	17名	22名 (小学校12名、中学校10名)	フィリピン8、中国6、ブラジル5、 パキスタン2、その他1	266回

## 2 子ども日本語学習サポータースキルアップ研修会実施

- ・日 時 平成22年9月11日(土) 13:30~16:30
- ・場 所 岡山国際交流センター 会議室
- ・対 象 子ども日本語学習サポーター登録者
- ・内 容 外国人児童・生徒向けに開発された教材「かんじだいすき」や新たに開発された教材の作成意図、教材の効果的な活用方法についての講義
- ・講 師 (社)国際日本語普及協会 地域日本語教育担当理事 関口 明子氏(教材開発者)
- ・参加者 15名

### ●工夫した点、苦慮した点

#### (1) 多文化共生のマップづくり

- ・マップはグーグル社が無料で提供しているグーグルマップと呼ばれる地図情報サービスのマイマップ機能を利用したが、アンケートで得たデータを一件ずつ、手作業で入れていくには作業量が多く、効率的ではないため、一括で地図上に取り込む方法を探したが、なかなか見つからなかった。
- ・ネット上に無料で提供されているアプリケーションが見つかり、日本語に関しては、データを一括してマップに取り込むことができた。(マップ作成ツール名 Gumap! Maler2)

- ・マップ作成ツールのアプリケーションをダウンロードした後、何度もその動作環境、操作手順を確認した。
- ・多言語のマップ作成に、当初自動翻訳を考えていたが、自動翻訳では適切な訳文に変換不能であることが判明し、言語ごとの翻訳、翻訳文のチェックと修正をボランティア等に依頼し、データ入力を各言語ごとに手作業で行った。そのため翻訳作業にかなり時間がかかった。
- ・Web デザインについては、閲覧者がホームページで簡単に操作できるようなページを作成するため、協会と業者で協議を重ね、より良いものを作成する努力をした。

## (2) 子ども日本語学習サポーター派遣事業

- ・派遣の要望が多く、限られた予算の中で、同じ地域に偏らず、できるだけ公平に派遣を行うために、派遣の優先順位をつけるのに苦慮した。
- ・サポーターが児童・生徒に合わせた独自の教材・副教材を用意するに当たり、当協会で購入した外国人児童のための日本語指導用テキスト、指導教本、教科学習用教材、文字カード等の教材をサポート期間中のサポーターに貸し出し、利用してもらった。

## ●成果と課題

### (1) 多文化共生のマップづくり

#### (成果)

- ・ネット上にマップを公開することにより、いつ、どこにいてもマップにある情報を日本語、英語、中国語、ポルトガル語で入手可能とした。例えば、利用者が県内の日本語教室や相談窓口の情報を探す場合、自宅・職場に PC がなくても、外出時でも、スマートフォン等の多機能情報端末を利用すれば、目的の場所、施設が提供するサービス、連絡先、対応言語等の情報を簡単に入手できるようになった。
- ・紙ベースの情報に比べ、情報の修正・追加も簡単にできるようになり、最新の情報をより迅速に提供可能となった。
- ・マップを当協会のホームページに掲載することで、ホームページの閲覧者で多文化共生に関心ない層が関心を持つきっかけとなること、国際交流に関心がある日本人の閲覧者を通じて、その友人・知人、周りの在住外国人がマップの存在を知ることが期待される。

#### (課題)

- ・掲載を希望する団体が増加し、多文化共生の裾野をより広げるためには、マップを多くの人に利用してもらうこと、掲載を希望する団体が増加することが望まれる。そのためには、マップについてより多くの人に知ってもらうための効果的な PR が必要である。
- ・データの修正・更新時に迅速に翻訳ができる翻訳者を確保すること。特に中国語、ポルトガル語の翻訳は日本人で翻訳ができる人がほとんどいないため、中国出身者やブラジル出身者に依頼しているが、県外へ転居或いは帰国する人も多く、作業を肩代りできる翻訳ボランティアを確保しておくことが望まれる。

## (2) 子ども日本語学習サポーター派遣事業

#### (成果)

- ・学校、サポーター、協会が連携してサポートをした結果、児童・生徒の日本語能力の向上に加え、学習意欲の向上やストレスの軽減等、日本語学習以外の効果も見られた。
- ・9月に実施したサポーター対象の研修会の内容は参加者にとって役立つものであった。

(課題)

- ・平成 22 年度にサポーターを派遣した児童・生徒の殆どは、家庭で日本語を話す環境や家庭学習の習慣がなかった。このような環境では学校生活・教科学習に必要な日本語習得だけでなく、他の児童・生徒とのコミュニケーションにも支障をきたしかねない恐れがあるため、今後、サポーターだけでなく、学校、周りの児童・生徒等を巻き込み、多方面からの支援体制を整備することが必要である。
- ・サポーターが活動中に直面する児童・生徒の進学問題等、日本語学習支援以外の問題をサポーターが一人で抱え込まないような環境を整える必要がある。
- ・一人当たりの支援回数が限られている中で、コミュニケーション力、読み書き能力などの日本語能力のレベルがそれぞれ異なっている子どもたちをより効率的、効果的にサポートする方法を確立する必要がある。

●今後の展開

(1) 多文化共生マップづくり

より多くの情報を提供するため、未掲載の市町村、県内の相談窓口、NGO/NPO 等へマップの周知を行い、掲載団体を増やす努力をするとともに、情報更新を定期的に行い、現在掲載中の団体とのネットワークを強化していく。

(2) 子ども日本語学習サポーター派遣事業

平成 23 年度はサポーターはじめ、小・中学校の教員、加配教員、地域の日本語学習支援者が利用できる「外国人児童・生徒日本語学習支援ガイドブック」を作成する。作成に当たり、日本語教育、心理学(カウンセリング)を専門とする大学関係者、小・中学校の教員、児童・生徒の日本語学習支援者(ボランティア等)、協会担当者等をメンバーとする研究会を設立し、学校側と支援者側の双方の課題に対応したガイドブックを作成中。

さらに平成 24 年度には学習支援者が指導の現場で実際に使うことができるオリジナル教材作成のノウハウを学ぶ教室を開催する予定である。